

KAGAWA アンバサダーからのお便り～原井武志さん～

ニーハオ。私がデロイトトーマツ北京事務所に駐在をしていた2016年よりKAGAWAアンバサダーを務めさせていただいております。その後、上海駐在を経て、2020年12月末に14年半の中国駐在生活をおえて帰国いたしまして、現在は東京にて株式上場を目指している会社の会計監査業務を中心として活動しております。

前回お便りさせていただいたのは、上海駐在中の2019年2月頃で、ちょうど中国ではデジタル産業が花盛りで、老若男女問わずスマートフォンを駆使して、電子商取引、DiDiタクシー、バイク、QR決済、SNSによる情報発信等々、日常生活にデジタル技術が浸透しとても便利で豊かな生活環境で、日中間の観光客の往来もとても活発な時代でした。

その後、2020年の1月からコロナが発生し、状況が一変いたしました。

各国で厳しい渡航制限がしかれ、特に中国では海外からの渡航者に対して、政府指定施設での2週間ほどの隔離政策がとられ、また中国国内の移動も制限が厳しく、都市間の移動もままならない状態が続きました。当時上海では、外国人も含めて市民全員がスマートフォンにコロナの感染状況を示すアプリをインストールし、そのアプリのマークを管理者に見せて自分がコロナ感染の疑いがないことを証明しなければ、タクシー、電車、飛行機などの交通機関を利用することも、建物に入ることもできない、厳しい管理が実施されていました。例えば、そのアプリのマークが緑色だと「健康でかつコロナ汚染地域に最近2週間足を踏み入れていない人」という意味ですので、その緑マークを見せれば建物に入ることができ、マークが黄色だと「2週間以内にコロナ汚染地域にいた人」ということで、建物への入館が制限され、マークが赤だと「コロナ感染者」として発熱専門病院等で隔離されてしまう厳格な政策がとられていました。

私も含めて皆さん、マークが緑色でないと生活がままならないため感染地域には近づかない、とか、風邪だけはひかないように、早寝早起きをし、手洗い、うがい、消毒、マスク着用などの健康管理に努めていました。

その効果がでたのか、上海では、私が帰国する2020年12月にはほぼゼロコロナの状態となり、引き続きアプリは使用しているものの、中国国内の移動制限もほぼ解除され、通常の日常生活がもどっていました。

その後、ワクチン接種もすすみ、ゼロコロナが進むのかと思っていた矢先、21年の年末頃からコロナが再燃し、街は人影がまばらとなり、22年4月から約2か月間、上海がロックダウンされました。

上海の友人の話を書きますと、ロックダウン中は文字通り外出できず、当然、買い物にも出



上海のいたるところに
設置されている
PCR 検査場の風景

られず、特に中国語が不自由な外国人は食料調達ひとつとっても難しく、いつ終わるともわからないロックダウン中は、言葉では言い表すことができない不安と不自由さだったようです。

今はようやく日本も中国もコロナの不安が解消され、日常が戻ってきつつあります。両国とも入境者の隔離政策も緩和され、飛行機便も回復傾向にあり、徐々に日中間の往来も回復してきているようです。以前のように日中間の往来が活発になる日が1日も早く訪れることを祈りつつ、私も今年こそは、久しぶりに中国の友人とのFace to Faceの交流をしたいと思っております。



2023年4月、上海の主要ターミナル駅の一つの虹橋駅の様子。コロナ以前と同じ活気を見せている。



2022年、中国で外出規制が更に厳しくなり人出がまばらな外灘（バンド）の風景。



原井 武志（はらい たけし）さん

東かがわ市出身。30年間の監査法人トーマツ在職中に大連、北京、上海の3都市に通算14年半駐在し、現地日系企業向けの会計/税務/投資コンサルティングに従事したのち、独立開業し、2023年8月、東京都新宿区に株式上場監査を専門とする監査法人 Growth を共同設立。

◇KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。